

事業再構築・業態転換の検討の進め方（方向性と取り組む内容の具体的な準備）

事業再構築や業態転換の具体的な準備にあたっては、
「先行する成功事例や類似事例がないか？」「既に知見やノウハウを持つ組織や人との
人脈ネットワークがあるか？（つくることができるか？）」が重要です。
具体的な準備として、「有益な情報をキャッチできる感度=アンテナを常に高く持つ」
ことを意識して、情報を探して集めましょう。国や県の行政や、
新聞やテレビや業界専門誌等では、様々な事例を見つけることができます。
またFC（フランチャイズ）募集をしている事業も参考になります。

事業再構築や業態転換の具体的な準備にあたっては、下記の3つを考えてみましょう。

1

モデルとなり得る
一定の成果を伴った
先行事例が存在するか？

2

全く同じ内容で
なくても類似した
事例が存在するか？

3

検討した事業案に
関する知見やノウハウを
持つ組織や人の協力を
得られるか？

この3つを考えるには、「有益な情報をキャッチできる感度=アンテナを常に高く持つ」ことを意識して、情報を探して集めることが重要です。

今では経済産業省や中小企業庁、そして都道府県単位で多くの中小企業・小規模企業の事業再構築や業態転換等の事例情報がネット上で公開されています。また、新聞やテレビ、業界専門誌等でも様々な先行事例を見つけることが可能です。

さらには、「モデル事例」ということでは、FC（フランチャイズ）を募集しているような事業に関しては、そのビジネスモデルが一定の採算性を含めた実現可能性が高い事業として成立すると判断することが可能でしょう。このFCに関する情報もネット上で調べることが可能です。

常に有益な
情報をキャッチ
できるように
せんとな！

